

建築研究所ニュース



平成19年3月15日

第4回構造物と地盤の動的相互作用に関する日米ワークショップの開催について

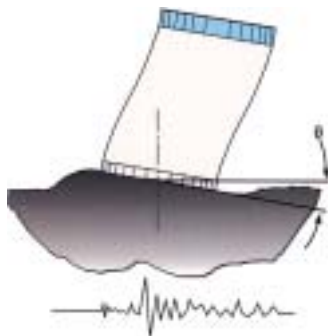
独立行政法人建築研究所（理事長：山内泰之）は、来る3月28日～30日に、つくば国際会議場エポカルつくば（つくば市竹園2-20-3）において、「第4回構造物と地盤の動的相互作用に関する日米ワークショップ（Fourth UJNR Workshop on Soil-Structure Interaction）」を開催します。

地震時の揺れの大きさの判断は、一般に地盤上で記録された観測データが基本になりますが、建築物へ作用する地震動は、建築物の存在による影響があるため、周辺の地盤の揺れとは異なったものになります。この現象を構造物と地盤の動的相互作用といいます。

この動的相互作用は、上部構造や基礎形式の違いによりその効果に差が出ます。この効果を考慮することにより、建築物へ実際に作用する地震動の設定が可能になります。この分野の研究が進んでいる日米両国が研究成果を紹介し、技術的な情報交換を進めることが、より合理的な耐震設計手法の発展に貢献するものと考えられます。

本ワークショップは、第1回を1998年にアメリカで開催し、その後、約3年ごとに日米で交互に場所を代えて開催しています。今回は2001年の第2回以来のつくばでの開催です。

なお、今回のワークショップには、この分野で活躍する日米の著名な研究者・技術者が多数参加する予定です。その成果は、ワークショップ終了後に刊行予定のプロシーディングズで広く公表することにしています。



4th US-Japan Workshop on
Soil-Structure Interaction

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 構造研究グループ
氏名 大川 出
電話 029-864-6627（直通）
E-mail okawa@kenken.go.jp